

令和4年 4月 25日

野々市市議会議長 様

(報告者)

会派名 野々市フォーラム

代表者 早川 彰一



## 政務活動報告書

下記のとおり政務活動(調査研究、研修、要望・陳情)を実施したので、報告します。

期 間	令和3年 12月 22日から 令和3年 12月 23日まで
視察、研修、要望・ 陳情の場所	衆議院第二議員会館 東京都千代田区永田町 2-1-2 参議院議員会館 東京都千代田区永田町 2-1-1
参加者氏名	早川彰一・辻信行・安原透・馬場弘勝・向田誠市・小堀孝史・朝倉雅三
目的 (調査・視察事項)	国土交通省、佐々木紀氏、岡田直樹氏、山田修路氏 「本市における土地区画整理事業、街路事業及び公園事業の促進を求める要望」 宮本周司氏 「本市における土地区画整理事業、街路事業及び公園事業の促進を求める要望及びコロナ対策として中小企業、小規模事業者のさらなる支援を求める要望」 文化庁 「国語に関する世論調査の結果について」 文部科学省 「エコスクールの考え方について」 防衛省 「糸満市米須地区における土砂発掘事業について」
調査・視察概要	本市は人口増加を続けており、市民の良好な生活環境を整備していくことは急務である。国の予算措置が必要な都市計画関連の事業を促進させるために、国土交通省担当課、県選出国會議員に対して本市の実情を詳細に説明し、要望を行った。資料を提示することによって、本市の現況と課題、将来展望についても理解を得られたものと考ええる。具体内容は次のとおりである。 ・中林、西部中央土地区画整理事業 ・都市計画道路 高尾郷線、野々市中央公園西線 ・野々市中央公園拡張 ・高橋川改修事業、安原川改修事業

<p>備 考</p>	<p>今後も、市が直面する課題を適切に説明し、継続事業や新規事業の事業促進に向けた活動を行っていくことで、市の発展に尽くしたい。</p> <p>また、本市は中小企業、小規模事業者の割合が高く、コロナ禍における支援策を充実させることは、極めて重要である。特に地域の商工分野に理解が深い宮本周司氏に対しては、中小企業及び小規模事業者への効果的で、きめ細やかな支援策について要望を行った。国では、事業の給付金の制度について、今後の方針や新たな施策を検討している段階であり、制度が決定した場合には、早急に内容を伝えていただくことを再確認した。</p> <p>文化庁の担当課からは、言葉の意味、言い方の調査結果について分析内容を伺った。言葉は新しいものが生まれ、変化していくものという前提であるが、結果をどのように活用していくかがカギである。国民の国語への興味と関心を喚起することが大切であり、言葉の意味を正しく理解しているか否かは、コミュニケーションに関わる重要な問題である。本市は比較的若い人が多く、新しい言葉の定着も早いと思われるが、一方では、長寿な人が多いという側面もあり、本市内の地域間交流、コミュニケーションにおいても影響があるため、引き続き、言葉の意味と言い方の変化、国の調査結果を注視していく。</p> <p>文部科学省の担当課からは、エコスクール（環境考慮型）の整備をすることで、環境教育への活用や地域への発信拠点になることを学んだ。また、整備に向けての支援措置についても説明を受けた。本市における小中学校の整備については、児童数増加に対応していくことが必要であり、エコスクールという観点を取り入れることも検討していくべきだと学んだ。</p> <p>防衛省の担当課からは、沖縄本島の南部地区における土砂発掘事業について、事実内容の説明を受けた。この調査をするべき理由は、本市における議会において、「沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を埋め立てに使用しないことを求める意見書」が提出された経緯からである。県内7地区、県外11地区が土砂調達候補地になっており、この南部地区の鉾山からの調達も他事業では既に行われており、鉾山へのアンケートにより、出荷が可能との回答を得られているものであった。国としては、土砂の調達先については定まった方針があるものではないが、先の大戦において凄惨な地上戦を経験した沖縄において御遺骨の問題は大変重要であるとの考えであり、我々も今後、動向を注視しつつ、議会での対応をするという結論に至った。</p>
------------	--

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。